

討論

会派の構成人数により文字数に違いがあります。

下水道事業会計の新年度予算 ウォーターPPP導入事業について反対

会派に属さない議員(馬場 佳陽 議員)

国はウォーターPPP事業 導入は民間への依存を強め、推進の背景の一つに職員不足 本市の持つ技術や知見の継続、を上げています。本市も技師 有事の際の回復を困難にし、採用のない15年間を経て厳 将来的に主体として事業を担う力が失われると考えます。

がん患者療養支援事業費 多様なニーズへの対応を期待

会派に属さない議員(安海 のぞみ 議員)

がん患者療養支援事業につ 都度検討したいという言葉をして、当局の答弁にあった、療養生活の向上や精神的負担の軽減に資する同様なものが今後出てくる場合には、その

一般会計予算 母子保健事業の制度改善を評価し賛成

あおぞらひまわりの会(星野 郁 議員)

母子保健事業費では、妊婦 助総額が6万2千円から11健康診査に係る自己負担を軽減するため、公費負担の増額が織り込まれています。母子の健康を保つため、健診の受診を促すことを目的に令和8年度より補助券から受診券に変更し、妊婦一人当たりの補

賛意は表すが、バランスの取れた 予算配分が肝要

新政いさま(荻原 健司 議員)

令和8年度一般会計予算の 総額は、対前年度比5.2%増と、過去最高額を更新しましたが、予算規模を大きくすることが目的ではなく、予算配分のバランスが取れている

児童解消に向けて保育士の確保が極めて重要な課題となっている現状において、時宜を得た施策であると高く評価し、子育て環境の充実を図るとい

下水道事業会計予算に反対 公共サービスの在り方が問われている

会派に属さない議員(沖永 明久 議員)

本市下水道事業におけるウォーターPPPの導入は、単なる発注形態の変更にとどまらず、公共サービスとしての下水道事業の在り方が問われ

生活支援を評価し、 賛意を表すが、説明責任を求める

自由民主党座間市議団(高波 貴志 議員)

議案第10号、令和8年度一般会計予算は、物価高騰や社会情勢の変化という厳しい外部環境の中において、市民生活の安定と、未来への投資を意識した編成となっている点については、一定の評価をします。また、限られた財源を、デジタル化による効率化や、強靱な防災体制の構築に

ていますが、企業版ふるさと納税を含めた歳入見込額が2745万円ほどとのこと、寄附金として市外へ流出する金額との差額は解消されていません。返礼品の充実で寄附

会派の要望が反映されるも、 問題山積の新年度一般会計予算に反対

日本共産党座間市議団(守谷 浩一 議員)

水道料金の減額、小学校給食費の保護者負担の軽減、小・中学校体育館へのエアコン設置、妊婦健診補助の増額、がん患者のウィッグや胸部補

誰一人取り残さない社会の実現に向けた 施策と評価し賛成

座間市公明党(伊藤 多華 議員)

令和8年度当初予算は、物価高騰や人件費増など厳しい社会経済環境の中で編成され、庁内一丸の努力を高く評価します。特に水道料金の減免や生活応援商品券事業は生活者に寄り添う重要な支援であり、物価高対策として大いに評価

必要な支援員を小・中学校全17校に配置し、 支援体制を強化するための予算計上に賛意

会派に属さない議員(長瀬 未紗 議員)

校内教育支援センターは、不登校に限らず、様々な要因により教室にいづらさを感じている子どもたちの居場所でもあること。さらに、教室復



竹田陽介(自由民主党座間市議団)、伊藤多華(座間市公明党)、京免康彦(新政いさま)、星野郁(あおぞらひまわりの会)、星野久美子(日本共産党座間市議団)、安海のぞみ(会派に属さない議員)、長瀬未紗(会派に属さない議員)、沖永明久(会派に属さない議員)

討論(3月24日) 馬場佳陽(会派に属さない議員)、安海のぞみ(会派に属さない議員)、星野郁(あおぞらひまわりの会)、荻原健司(新政いさま)、沖永明久(会派に属さない議員)、高波貴志(自由民主党座間市議団)、守谷浩一(日本共産党座間市議団)、伊藤多華(座間市公明党)、長瀬未紗(会派に属さない議員)